

鞞

といへども、おほかたはかはることもあらず、廣橋家へとひしに、彼かたのこたへも詳ならず、
〔葉黃記〕寛元四年三月二日辛卯、爲御方違、御幸宣陽門院。○後白河皇女 觀子内親王 第二度御幸、廂御車也。○中

御雨皮張筵料持御幸始、所被通、用之、由被申之、

〔倭名類聚抄十一〕鞞 四聲字苑云、鞞音秋、字亦作鞞、和名之利加岐、車鞞、所以制牛後也、

〔箋注倭名類聚抄三〕按、之利、譬也、加岐、謂勒絡之也、謂著禪、爲多不左岐加久、卽是也、與垣牆訓加

岐同語略○中 空穂物語樓上下卷、謂之利加、以今俗所呼同。○中 按、玉篇鞞、車鞞也、方言、車紂自關而

東、周洛韓鄭汝穎、而謂之鞞、釋名、釋車、鞞、繪也、在後、道迫使不得却縮也、說文、紂、馬繪也、繪、馬紂也、則

知鞞作繪爲正、所引鞞鞞鞞皆俗字、

〔延喜式彈正四十一〕凡内親王、三位已上、内命婦、及更衣已上、並聽乘絲葺有庇之車、并著緋牛鞞、

〔蛙抄車輿〕鞞間事

平畝鞞、檳榔庇毛車、雨眉網代庇等、用平畝鞞、但雨眉網代庇、或用丸畝、唐車、糸毛、輦車等、平鞞付杏

葉、唐車或革鞞云々、

平畝ハ、繩ニテ車副遣之時用之、

太畝鞞、半葺網代、八葉、或丸畝ト云者是也 牛童遣之時用之、點鞞ハ、廷尉彈正等職用之、於辨少納言ハ、他家說可有之、於家者用赤鞞、

解懸鞞事 下車之時、鞞ヲ牛ニ解懸タル事

大臣之時作法也、但襄時不必然 納言以下無此儀、出牛後、纏付于軛置之、但拜賀之時、爲表祝著、准大臣儀、

解懸牛也、

〔空穂物語 樓の上下二〕ないしのかみの御車、新しく調せさせ給へり、かんの殿のは、こ紫の糸毛に、

唐鳥孔雀ぬはせ給へり、宮の御は、ふたあるに雲だすき、秋のの、かたをうつし、草虫す、きむら

鳥のかたを、いろく、に縫はせ給へり、いとなまめかしうさまく、にをかしう、ま、り、か、い、にも唐